

全協会会長表彰決まる

九州南部連合会と埼玉県連合会 2連合会の活動を高く評価

2019年度の全協会会長表彰が、所定の厳正なる審議の結果、7月8日に決定された。今回、受賞したのは、「喫煙環境整備・喫煙規制への対応」の項目から九州南部連合会(福島洋一会長)、また、「美化活動・未成年者喫煙防止活動」の項目から埼玉県連合会(高沢啓会長)の2団体である。なお、全協会会長表彰の授賞式は、10月に開催予定の連合会長会議において行われる予定。受賞内容等は次のとおり。

「喫煙環境整備・喫煙規制への対応」

「喫煙環境整備・喫煙規制への対応」

地方たばこ税を活用した分煙環境整備は、たばこ業界全体の喫煙課題であり、全協が進める国への働き掛けはもとより、地方における自治体・議会等への働き掛けも非常に重要となっている。

このような状況下において、九州南部連合会は、全国に先駆けて当該活動に着手、関係団体の協力を取り付けながら準備を進め、連合会内での合意形成もスピー



九州南部連合会による鹿児島県知事への陳情(左端は福島洋一会長)

高校生の参加が50%超える未喫防止活動・埼玉県連合会

「美化活動・未成年者喫煙防止活動」

未成年者(20歳未満)喫煙防止活動は、たばこ販売業者としての責任にとどまらず、地域社会との連携・共生という意味でも重要であり、たばこが敬遠されている昨今、その重要性は増している。

埼玉県連合会では、タスポ導入以前の2005年(平成17年)より未成年者喫煙防止活動を実施し、県内各地域の高等学校をそれぞれ関係団体(財務局、教育委員会、警察、酒販組合等)と協力し、2019年(令和元年)度には、県内26か所において総勢1487名が参加した。2019年度未喫防止強化月間における連合会報



高校生が中心となったJR大宮駅での未喫防止キャンペーン

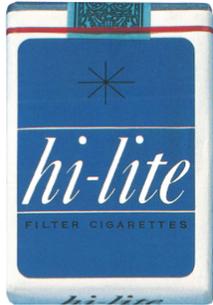
▼新発売から60年

「ハイライト」

「ハイライト」が1960年(昭和35年)6月20日に新発売されてからちょうど60年が経過した。人間でいえば、還暦を迎えたこととなる。新登場した際の広告コピーである「ロングサイズ・フィルター付」が製品特徴を表している。

国産初のフィルター付たばこといえば、1957年(昭和32年)7月1日発売の「ホープ」で、長さは70mmで10本入り40円だったのに対して、3年後に登場した「ハイライト」は、フィルター付で、しかもその長さは国産初80mmのロングサイズたばこであり、20本入り70円だった。デザインは、著名なイラストレーター「和田誠氏」によるものだ。

新発売後、品切れ状態が発生するほどの人気を博し、1961年度以降の売り行きは4位、1963年度に3位、発売5年後の1965年度には、それまで11年間首位の座にあって「しんせい」を退け、首位に躍り出た。以降、10年間(1965～1974年・昭和40年代)にわたり、トップブランドとして君臨し、1969年度には48.1%のシェアを占め、「1銘柄としての販売数量は世界第一位」といわれるに至った。



新発売当時の「ハイライト」(20本入り70円:現在450円)

昭和40年代に10年間トップの座 —国産初のロングサイズ銘柄—

しかし、時代の流れとはいえず、近年の軽喫味嗜好と、かつて常喫銘柄としていた喫煙者の高齢化による販売数量の減少と思われるが、今なお根強いファンが健在である。かつてトップブランドとして国内たばこ産業の礎を築いたことを記憶に留めておきたいものだ。

なお、これまで「ハイライト・エキスポート」、「ハイライト・マイルド」などの姉妹品が発売されたが、現在では「ハイライト」(タール値17mg、ニコチン値1.4mg)と、2004年1月発売の「ハイライト・メソール」(同10mg、0.8mg)の2銘柄のみとなった。

組合員のみなさまに耳よりな情報です!



たばこ販売店総合保険 まもなく募集開始!

お店のリスクに備えたい!



日常生活のリスクに備えたい!



9/1(火)より募集開始となります!

保険期間は令和2年12月1日より1年間です。

パンフレットは単協にご用意していますので、単協へお問い合わせ下さい。

この広告は保険の特徴を説明したものです。詳細はパンフレットをご覧ください。